

## 先生おすすめの本を紹介します！

第8回は、脇田潤先生と吉野先生のおすすめ本です。ここに紹介してある本は、生徒玄関前に展示してあります。気になる人は、ぜひ読んでみましょう！



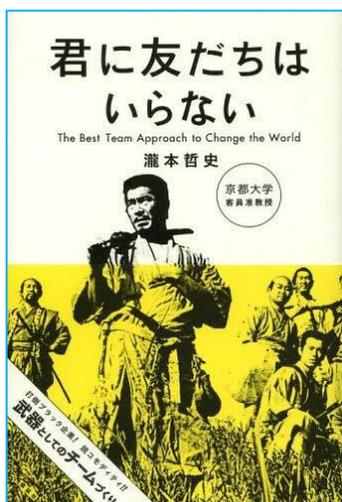
### 脇田潤先生おすすめの本



『君に友だちはいない』

たきもと てつふみ  
瀧本 哲史 著

(講談社)



少しドキッとするタイトルです。しかしサブタイトルは「世界を変えるためのチームの作り方」です。著者がなぜこのタイトルをつけたのかを考えながら読むと面白いですよ。

私が最も好きな場面は「ゲマインシャフト」から「ゲゼルシャフト」への変化の必要性が語られている箇所です。生まれた場所（地縁）や狭い人間関係の社会を「ゲマインシャフト」といいます。著者いわく「いじめ」という現象は「そこで暮らしていくしかない人たちが自分たちの集団の「同質性」を確認するために、わずかな差異を持つ人を叩くという儀式で、「ゲマインシャフト」特有の問題であると述べています。それでは「ゲゼルシャフト」とは何か？自分の人生に物足りなさを感じていたり、または、人間関係や学校生活に悩みがある人にぜひ読んでもらいたい1冊です。



### 吉野千尋先生おすすめの本



『言い訳 関東芸人はなぜM-1で勝てないのか』

はなわ のぶゆき

塙 宣之 著 (集英社)



ナイツの塙が今までのM-1について解説しています。これを読むと、お笑いについて少し詳しくなれます。そして、そのお笑いの知識をもとに、「教室にも笑いを広げてくれればいいな」と思ってこの本を選びました。人の失敗を笑うのではなく、正面から人を笑顔にさせられる人になって欲しいです。